

ビーイングだより

令和2年9月30日

所在地 湯沢市小野字東水口205番地2

TEL 0183-56-7310

E-mail ononokomachi@yutopia.or.jp

HP <http://being-aoihana.org>

玄関に咲くビスコーサ

理事長挨拶

寺門 敏子

ススキが風に揺れ、虫がなき、まさに秋の季節そのものなのに、熱帯夜という不思議な気候に翻弄された、長い夏でございました。

一向に収まらないコロナとの闘いも続く中、皆様にはお変わりもなく、この厳しい夏を乗り切り、元気に過ごされましたでしょうか。

イベントが無いのが当たり前という風潮に慣れてきたような毎日ですが、わがビーイングも例外ではなく、全てのイベントを中止いたしました。

幸い、ビスコーサに通う子供達は元気で、日に日に成長する姿が職員の励みになり、元気をもらっております。

未だ経験したことがない、コロナとの厳しい闘いの中で、失ったものも多く、悲しく、寂しい経験も沢山ありましたが、その環境の中で身についたもの、得たものも多くあったような気がします。

新しい生活様式の確立、目にみえるものにしか対応してこなかった長い間の習性が目に見えないものと戦うために知恵をしぼり、工夫をし、それを苦痛に思わない柔軟な対応を日々の生活の中にとり入れる。街を往来する人々のマスクをみてもそのことがよく分かります。ファッションの一部になっており、楽しみながら生活の中に受け入れている。人間ってすごいなと思います。この柔軟さで立ち向かえばコロナには負けないのではないのでしょうか。

1年半の間に子供達は体もたくましくなり、精神面での成長も見られました。

特に暑かった夏休み中はプールで思いっきり真っ黒になるまで遊びました。

ビスコーサの菜園も実り多く、子ども達は収穫の喜びと共に、秋の味覚を十分に味わいました。

今年の暑さは異常ですが、コロナ、台風、洪水とこれからも、幾度となく天災地変に襲われるかもしれませんが、平穏な明日を信じて頑張りましょう。

まだまだ残暑厳しい毎日が続きますが、会員の皆様にはお元気でお過ごしくださいますようお願いいたします。

ご寄付をいただいた皆様

高橋順一様、山上敏子様、大久保幸子様、田中ミヤ子様、後藤昭男様、菅恵子様
国際ソロプチミスト横手様



7月20日にソロプチミスト横手支部の皆様4名の方がビスコーサを訪問していただきました。毎年訪問いただいています。2時間くらいいろいろな話をさせていただきました。清水一子理事の郷土料理が好評でした。

横手支部長菊地様から寺門理事長にご寄付をいただきました。毎年のご厚意に感謝でいっぱいです。大切に使用させていただきます。

雄勝中央病院の花壇に今年もビスコーサの花が咲きました。



魔法の鉢？！

6月11日 寺門理事長と山上敏子理事が由利本荘市のNPO法人逢あいを訪問しました。障害のある方が新聞紙とセメントで「魔法の鉢」を作っています。大内町交流センター「ぼぼろっこ」でも常設販売しているそうです。理事の方々から子どもたちがコロナに負けないで頑張れるようにと祈りを込めて、この鉢にビスコーサを植え、子どもたちにプレゼントしました。後日この花に感動したと保護者の方から連絡をいただきました。

研修旅行に行きました

7月19日 出発時は小雨の降る悪天候でしたが、にかほ市大竹のタイムを訪問。花のあふれる素晴らしい庭園と経営者の佐々木利子さんの話に感銘を受けました。皆さんも是非一度足を運んでみてください。道の駅ねむの丘でお昼を食べる頃は天気も良くなり久しぶりに日本海を見渡すことができました。帰りは土田牧場に立ち寄り、予定通り小野に戻ってまいりました。大竹の無病息災を祈る観音様にコロナの終息を皆でお願いしてきました。



お知らせ

来年度のスポーツ関連のイベントについて

今年度は新型コロナウイルス関連で多くの行事が中止されましたが、ビーイングの行事についても同様に、年度当初は新型コロナの状況も見据えつつ計画をしていましたが収束は見えず、結局すべての行事を中止せざるを得ませんでした。会員の皆さんにおかれましても、大変落胆された方も多かったのではないのでしょうか。残念ながらいまだ収束の見通しは立ちませんが、早い収束を願いつつ、来年度の計画を立てることにしました。以下の計画は現段階における計画であり、変更や中止もあり得ると言うことをご了承ください。

三密を避けるということで、ボッチャ、フロアカーリング、バリアフリーディスクゴルフなどを考えています。来年度に2回ぐらい（夏から秋にかけて）実施できないかと考えています。より詳しい計画につきましては、決まり次第会報等でお知らせしたいと考えていますので、その際はぜひご参加を検討いただければと思います。はっきりした予定にならなくて申し訳ありませんが、事情をおくみとりいただき、よろしくご協力のほどお願いいたします。

放課後等デイサービス

ビスコーサのようす

ビスコーサ・ファームの6月



9月



ビスコーサ・ガーデンの6月



9月



会員でビスコーサの指導員でもある高橋慎一さんと園芸療法士でもある浅利政子さんが中心となって子どもたちといっしょになって育ててくれました。ファームではトマト、トウモロコシ、ジャガイモ、枝豆、ダイコン、サツマイモ、キュウリなど。ガーデンではハーブ類、マリーゴールド、ベゴニア、キバナコスモス、リンドウ、シャクヤク、コリウス、千日紅、ひまわり、もちろん幸せの青い花も。南側窓にはマルバ朝顔が満開です。

園芸療法とは花を育てることを通してこころ、からだ、社会性を育てるものだそうです。関心のある方はビスコーサに連絡ください。

子どもたちの夏休みの思い出



大きなジャガイモが採れました。



採れたてのジャガイモでカレーを作って食べました。短かった夏休み最後の思い出です。



夏休み中は午後からプールで水遊び。真っ黒に日焼けした子どもたち



お楽しみ会で理事長が小野小町の紙芝居を披露しました。提供いただいた〈小町園〉さんに感謝です。

1年生 I.S君 プールに入った。

2年生 A.T君 ぼくがーばんたのしかったのは、カレーをつくって食べたことです。やわらかくて、おいしかったです。かくしあじのトマトがはいっていて、ちょっとびっくりしました。おいしかったです。

毎年12月に音楽コンサートをお願いしている 小川ロン氏よりメッセージ

JUNKというバンドで活動し、夜のヒットスタジオにも出演。代表曲は「鶺鴒参り」。

'08にご縁を頂き、以来暮れの湯沢に7回伺えました。大方唄旅の最終コーナー、お逢い出来た皆さんの笑顔が帰り道を暖かなものにしてくれます。今年はコロナで旅自体を断念、ならこれ迄の笑顔数々、改めて想い浮かべ…ほっこり！



9月20日に（ビスコーサの郷）の歌を作曲していただいた三好雅夫氏の指導で稲川支援学校の和泉かく子先生のピアノで録音していただきました。（幸せの青い花）と（ビスコーサの郷）の歌を近くHPに載せますのでご期待ください。

会費納入のお願い
まだお済みでない方はよろしくお願いたします。郵便振込になります。

口座番号 02200-8-101550
加入者名 NPO法人サポートセンター・ビーイング

〈おうちで眠っているものがございましたら〉

小学生が読める児童書、運動用のマットとして使えそうなマットレス、手先を使うゲームなどなど、ビスコーサで使えそうなものがあれば、先ずは連絡ください。0183-56-7310までお願いします。